

付録 給付実績交換情報の説明

(連合会から保険者に送付する給付実績交換情報について)

給付実績交換情報と請求額通知書の整合性の確認ポイント

レコード項目	レコード識別	給付実績情報作成区分	給付実績区分	サービス種類コード	日数回数	サービス単位数	介護給付費	利用者負担額	公費負担額	審査年月	その他備考
基本情報	H 1	○	○		○	○	○			○	
明細情報	D 1										
緊急時療養費情報	D 2										
特定診療費情報	D 3										
食事費用情報	D 4				○		○	○		○	
居宅サービス計画費情報	D 5										
福祉用具購入費情報	D 6										
住宅改修費情報	D 7										
集計情報	T 1			○	○	○	○	○	○	○	サービス種類毎合計
高額介護サービス費情報	D 8	○	○				○	○	○	○	
特定入所者介護サービス費用情報	D 9			○			○	○	○	○	
社会福祉法人軽減額情報	D A										

凡例○…確認のための集計作業で参照する項目

給付実績交換情報（1111）と介護給付費請求額通知書（1511）の内容を確認する為の集計方法のポイントについて下記に記述する。

		給付実績交換情報	介護給付費請求額通知書	集計方法のポイント
I	生保単独受給者	含む	含まない	生保単独受給者は除いて集計する
II	償還分	含む	含まない	償還分と現物分を分けて集計する
III	単位数、金額、調整額、介護給付費、利用者負担額、公費負担額	決定単位数、決定額	通常分と再審査・過誤分を分けて集計	様式に応じて基本情報コードまたは集計情報コードから集計する。 給付実績情報作成区分：1…通常分として加算する。 給付実績情報作成区分：2…再審査・過誤分として前回決定額との差額を集計する。 給付実績情報作成区分：3…再審査・過誤分としてマイナス集計する。
IV	日数・回数	決定日数・回数	請求日数・回数	様式に応じて基本情報コードまたは集計情報コードから実日数または入所実日数を集計する。 給付実績作成区分：1…通常分として加算集計する。 給付実績作成区分：2…集計しない。 給付実績作成区分：3…集計しない。
V	件数	—	通常分と再審査・過誤分を分けて集計	基本情報コードの件数から集計する。 給付実績作成区分：1…通常分として加算集計する。 給付実績作成区分：2…カウントしない 給付実績作成区分：3…再審査・過誤分としてマイナス集計する。
VI	高額介護サービス	金額	金額	高額介護サービス費情報コードから集計する。 給付実績作成区分：1…加算集計する。 給付実績作成区分：2…前回決定額との差額を集計する。 給付実績作成区分：3…加算集計する。
VII	高額介護サービス	件数	件数	高額介護サービス費情報コードの数を集計する。 給付実績作成区分：1…加算集計する。 給付実績作成区分：2…加算集計する。 給付実績作成区分：3…加算集計する。 各々、公費負担者番号1に設定があれば1件カウント、公費負担者番号1、2に設定があれば2件カウント、公費負担者番号1、2、3に設定があれば3件カウントする。

- I. 生保単独受給者の情報は保険者請求額通知書には集計しない為、給付実績交換情報には含まれているが、検証する際にはこれを集計データから除いて計算する。

集計情報 例)

証記載保険者 番号	被保険者番号	給付実績区分	…	単位数合 計	保険請求額	利用者負担額
--------------	--------	--------	---	-----------	-------	--------

Hで始まる被保険者は保険請求額を集計しない。

- II. 償還分の情報は保険者請求額通知書には集計しない為、給付実績交換情報には含まれているが検証する際にはこれを集計データから除いて、現物分のみ計算する。

集計情報 例)

証記載保険者 番号	被保険者番号	給付実績区 分	…	単位数合 計	保険請求額	利用者負担額
--------------	--------	------------	---	-----------	-------	--------

2：償還は保険請求額を集計しない。

◇基本情報レコードの給付実績情報作成区分に応じて以下に示す方法で集計する。

- III. a) 様式に応じて以下の情報により集計する。

集計情報他 様式により加算する項目が異なる

サービス種類コード	様式	入力識別番号	集計に使用する項目
11～17	二	7131	集計情報(T1)レコードより集計する。
21	三	7141,7142,7143	
22	四	7151,7152,7153	
23	五	7161,7162,7163,7164	
31	二	7131	
32	六	7171	
33	六	7171	
43	七	8121	基本情報(H1)レコードより集計する。
51	八	7181,7182,7183	集計情報(T1)レコードより集計する。
52	九	7191,7192,7193	
53	十	71A1,71A2,71A3	
緊急時施設療養	四,九	7151,7152,7153 7191,7192,7193	
特定診療費	五,十	7161,7162,7163,7164 71A1,71A2,71A3	食事情報(D4)レコードより集計する。
食事費用	八,九,十	7181,7182,7191 7192,71A1,71A2	

サービス種類コード	様式	入力識別番号	集計に使用する項目
81	二	7131	集計情報(T1)レコードより集計する。
41	十三	21C1	
42	十四	21D1	
特定入所者介護サービス費	三,四,五 八,九,十	7143,7153,7164 7183,7193,71A3	特定入所者介護サービス費用情報(D9)レコードより集計する。
社会福祉法人軽減額	二,三,八	7131,7143,7183	—

III. b) 基本情報レコードの給付実績情報作成区分コードが「1：新規」の場合。

現物の通常分データ対象として全て加算し集計する。

基本情報 例)

給付実績情報作成区分	...	給付実績区分	...	保険請求額	公費n請求額	審査年月
						※ 1

1：新規を対象として集計する。 1：現物分

III. c) 給付実績情報作成区分コードが「2：修正」の場合。

現物で過誤再審査、給付管理票修正の申立による差額調整があった場合のデータ対象として請求額通知書には差額が集計されている為、給付実績交換情報の保険者請求額をそのまま集計するのではなく、給付実績としても差額を算出して集計する。

具体的には前月の給付実績と今回決定額より差額を計算し、集計値に使用する。

基本情報 例)

給付実績情報作成区分	...	給付実績区分	...			審査年月
						※ 1

2：修正 1：現物分

【今回決定額】

差額を求め集計する。

給付実績情報作成区分	...	給付実績区分	...			審査年月
						※ 1

1：新規 1：現物分

【前回決定額】

※【前月】とは原審請求月を指す。

※【当月】とは過誤等修正請求月を指す。

集計情報 様式により差額を求める項目が異なる。
上記III. a) を参照。

III. d) 給付実績情報作成区分コードが「3：取消」の場合。

取り下げがあった場合の基本情報レコードで金額には以前の情報を保持している。この場合には給付実績交換情報をマイナスの情報として集計値に使用する。

基本情報 例)							
給付実績情報作成区分	…	給付実績区分	…		公費 n 請求額	審査年月	
↓		↓			マイナスにして集計する。	※ 1	
3：取消		1：現物分			↓		

集計情報 様式によりマイナス集計する項目が異なる。

上記III. a) を参照。

IV. a) 日数・回数を様式に応じて以下の情報により集計する。

集計情報他 様式により集計する項目が異なる

サービス種類コード	様式	入力識別番号	集計に使用する項目
11～17	二	7131	集計情報(T1)レコードのサービス実日数
21	三	7141,7142,7143	
22	四	7151,7152,7153	
23	五	7161,7162,7163,7164	
31	二	7131	
32	六	7171	基本情報(H1)レコードの入所(院)実日数
33	六	7171	
43	七	8121	集計情報(T1)レコードのサービス実日数
51	八	7181,7182,7183	基本情報(H1)レコードの入所(院)実日数
52	九	7191,7192,7193	
53	十	71A1,71A2,71A3	
緊急時施設療養	四,九	7151,7152,7153 7191,7192,7193	—
特定診療費	五,十	7161,7162,7163,7164 71A1,71A2,71A3	—
食事費用	八,九,十	7181,7182,7191 7192,71A1,71A2	食事情報(D4)レコードの食事提供延べ日数
81	二	7131	集計情報(T1)レコードのサービス実日数
41	十三	21C1	—
42	十四	21D1	—
特定入所者介護サービス費	三,四,五 八,九,十	7143,7153,7164 7183,7193,71A3	—
社会福祉法人軽減額	二,三,八	7131,7143,7183	—

IV. b) 基本情報レコードの給付実績情報作成区分コードが「1：新規」の場合。

現物の通常分データ対象として全て加算し集計する。

基本情報 例)

給付実績情報作成区分	...	給付実績区分	...	保険請求額	公費 n 請求額	審査年月
------------	-----	--------	-----	-------	----------	------

※ 1

1：新規を対象とし集計する。 1：現物分

IV. c) 給付実績情報作成区分コードが「2：修正」の場合。

集計しない。

IV. d) 給付実績情報作成区分コードが「3：取消」の場合。

集計しない。

V. 基本情報レコードの件数を集計する。

現物の通常分データ対象として全て加算し集計する。

基本情報 例)

レコード種別	給付実績情報作成区分	給付実績区分	...	保険請求額	公費 n 請求額	審査年月
--------	------------	--------	-----	-------	----------	------

※ 1

H 1：基本情報レコードのみカウントする。

1：現物分

給付実績情報作成区分：1は件数を加算し集計する。

給付実績情報作成区分：2は件数をカウントしない。

給付実績情報作成区分：3は件数をマイナスカウントする。

サービス種類毎の件数集計は明細情報レコードの件数を集計する。

明細情報 例)

レコード種別	サービス種類コード		...	保険請求額	公費 n 請求額	審査年月
--------	-----------	--	-----	-------	----------	------

※ 1

D 1：明細情報レコードの同一サービス種類の件数をカウントする。

VI. 高額介護サービス情報の金額は高額介護サービス情報レコードの支給額を集計する。

高額介護サービス費情報

サービス種類コード	様式	入力識別番号	集計に使用する項目
高額介護サービス費	十五	3411	高額介護サービス費情報(D8)レコードを使用する。

高額介護サービス費情報 例)

給付実績情報作成区分	...	給付実績区分	...	支給額	公費 n 支給額	審査年月
↓		↓				※ 1

1：新規

1：現物分

給付実績情報作成区分：1は加算集計する。

給付実績情報作成区分：2は差額を集計する。

給付実績情報作成区分：3は加算集計する。

高額介護サービス費情報 例)

給付実績情報作成区分	...	給付実績区分	...	支給額	公費 n 支給額	審査年月
↓		↓		【今回決定額】		※ 1

2：修正

1：現物分

【今回決定額】

↑
差分を求め集計する。
↓

高額介護サービス費情報 例)

給付実績情報作成区分	...	給付実績区分	...	支給額	公費 n 支給額	審査年月
↓		↓		【前回決定額】		※ 1

1：新規

1：現物分

【前回決定額】

高額介護サービス費情報 例)

給付実績情報作成区分	...	給付実績区分	...	支給額	公費 n 支給額	審査年月
↓		↓		↑そのまま集計する。		※ 1

3：取消

1：現物分

(高額情報はマイナス値が設定されている為。)

VII. 高額介護サービス情報の件数は高額介護サービス情報レコードから集計し、公費負担者番号が設定されている件数を集計する。

高額介護サービス費情報

サービス種類コード	様式	入力識別番号	集計に使用する項目
高額介護サービス費	十五	3411	高額介護サービス情報(D8)のレコード数

高額介護サービス費情報 例)

給付実績情報作成区分	...	給付実績区分	...	支給額	公費n支給額	審査年月
↓		↓				※1
1：新規		1：現物分				

給付実績情報作成区分：1、2、3とも件数を加算し集計する。

(公費負担者番号1に設定があれば1件カウント、公費負担者番号1および2に設定があれば2件カウント、公費負担者番号1および2および3に設定があれば3件カウントする。)

(III. ～ VII. 図中)

※1：審査年月は給付実績情報が更新されるような処理（過誤再審査、給付管理票修正の申立による差額調整等）を行うとその審査年月に更新される。